

領域計画書の概要

領域計画書に記載した「(a) 研究領域の目的、背景など」「(c) 領域推進の計画・方法」「(d) 研究領域の波及効果」について、その概要を簡潔にまとめて記述すること（3頁以内）。

(\JSPSInstructions をコメントアウトしてください。)

領域計画書(概要版)作成に当たって留意すること

○本留意事項の内容を十分に確認し、領域計画書(概要版)の作成時にはこのテキストボックスごと削除すること○

留意事項①：

1. 本研究種目は、次代の学術の担い手となる研究者による少数・小規模の研究グループの、これまでの研究で培った経験から生まれてくる、既存の概念を覆すようなアイデアや発見、手法等により、挑戦的かつ萌芽的な研究に取り組むことで、これまでの学術の体系や方向を大きく変革・転換させることを先導することを目的としたものです。
2. 本提案の検討に当たっては、重要と考えられてきた概念を根本的に変化させたり、まったく新しいパラダイムの創造へとつながる可能性のある研究など学術の変革を導くような飛躍的な展開を可能とする潜在性を有するものであることについて留意すること。
3. 学術変革領域研究（B）は、公募要領（「II.公募の内容 3. 各研究種目の内容 ①学術変革領域研究（A・B）（2）」参照）記載の四つの審査区分により、広い分野の委員構成で多角的視点から審査が行われることに留意の上、領域計画書を作成すること。
4. 学術変革領域研究（B）では、本様式（「領域計画書の概要」、「研究計画調書の概要」、「過去の採択研究課題からの発展性」欄）に領域計画書「応募情報（Web入力項目）」を加えた「領域計画書（概要版）」のみによる事前の選考を行います（応募件数が少ない場合、事前の選考は行いません）。本様式は、書面審査及び合議審査では参照できないため注意すること。

留意事項②：

1. 作成に当たっては、領域計画書（全体版）・領域計画書（概要版）作成・記入要領を必ず確認すること。
2. 本文全体は11ポイント以上の大きさの文字等を使用すること。
3. 各頁の上部のタイトルと指示書きは動かさないこと。
4. 指示書きで定められた頁数は超えないこと。なお、空白の頁が生じても削除しないこと。

○本留意事項の内容を十分に確認し、領域計画書（概要版）の作成時にはこのテキストボックスごと削除すること○

*** 以下は、あくまで例です。真似しないでください。 ***
 *** 本文はもちろん、節の切り方や論理の組み方は ***
 *** ご自分の気に入ったスタイルで書いてください。 ***

1.1 計画研究の名前

領域全体の計画書を書くときに用いた `keikaku_defs.tex` で定義したコマンド（例えば `\codeZoo`, `\titleZoo`, `\codeNicknameZoo` など）を用い、各計画研究の記号や研究課題名やその略称（A01, 象の卵の探索—動物園, A01(動物園)）を表示するのが楽です。書き間違えないし、あとで名前が変わっても簡単に直せます。

領域計画書にはこんなことが書かれています...

【領域計画書の概要（つづき）】

研究計画調書の概要（総括班）

研究項目番号	研究代表者氏名	研究課題名
X00	湯川秀樹	総括班
領域計画書に記載した「(b) 領域マネジメント体制」、研究計画調書に記載した「総括班の目的、計画など」について、その概要を簡潔にまとめて記述すること（1頁以内）。		

(\SokatsuInstructions をコメントアウトしてください。)

○本留意事項の内容を十分に確認し、領域計画書(概要版)の作成時にはこのテキストボックスごと削除すること○

留意事項①：

1. 学術変革領域研究（B）は公募要領（「II. 公募の内容 3. 各研究種目の内容 ①学術変革領域研究（A・B）（2）」参照）記載の四つの審査区分により、広い分野の委員構成で多角的視点から審査が行われることに留意すること。
2. 学術変革領域研究（B）では、本様式（「領域計画書の概要」、「研究計画調書の概要」、「過去の採択研究課題からの発展性」欄）に領域計画書「応募情報（Web入力項目）」を加えた「領域計画書（概要版）」のみによる事前の選考を行います（応募件数が少ない場合、事前の選考は行いません）。本様式は、書面審査及び合議審査では参照できないため注意すること。

留意事項②：

1. 作成に当たっては、領域計画書（全体版）・領域計画書（概要版）作成・記入要領を必ず確認すること。
2. 本文全体は11ポイント以上の大きさの文字等を使用すること。
3. 各頁の上部のタイトルと指示書きは動かさないこと。
4. 指示書きで定められた頁数は超えないこと。なお、空白の頁が生じても削除しないこと。

*** 以下は、あくまで例です。真似しないでください。 ***
 *** 本文はもちろん、節の切り方や論理の組み方は ***
 *** ご自分の気に入ったスタイルで書いてください。 ***

4.1 計画研究の名前

領域全体の計画書を書くときに用いた `keikaku_defs.tex` で定義したコマンド（例えば `\codeZoo`, `\titleZoo`, `\codeNicknameZoo` など）を用い、各計画研究の記号や研究課題名やその略称（A01, 象の卵の探索—動物園, A01(動物園)）を表示するのが楽です。書き間違えないし、あとで名前が変わっても簡単に直せます。

4.2 総括班は...

総括班は、そうかつに言葉を濁らせてはならない。象カツ飯となり、真の目的が明らかになってしまうからである。

研究計画調書の概要（総括班以外の計画研究）

研究項目 番号	研究代表者氏名	研究課題名
A01	湯川秀樹	象の卵の探索－動物園
研究計画調書に記載した「（a）研究計画、研究方法など」「（b）研究遂行能力及び研究環境」について、その概要を簡潔にまとめて記述すること（1頁以内）。		

(\KeikakuInstructions をコメントアウトしてください。)

○本留意事項の内容を十分に確認し、領域計画書(概要版)の作成時にはこのテキストボックスごと削除すること○

留意事項①：

1. 学術変革領域研究（B）は公募要領（「II. 公募の内容 3. 各研究種目の内容 ①学術変革領域研究（A・B）（2）」参照）記載の四つの審査区分により、広い分野の委員構成で多角的視点から審査が行われることに留意すること。
2. 学術変革領域研究（B）では、本様式（「領域計画書の概要」、「研究計画調書の概要」、「過去の採択研究課題からの発展性」欄）に領域計画書「応募情報（Web入力項目）」を加えた「領域計画書（概要版）」のみによる事前の選考を行います（応募件数が少ない場合、事前の選考は行いません）。本様式は、書面審査及び合議審査では参照できないため注意すること。

留意事項②：

1. 作成に当たっては、領域計画書（全体版）・領域計画書（概要版）作成・記入要領を必ず確認すること。
2. 本文全体は11ポイント以上の大きさの文字等を使用すること。
3. 各頁の上部のタイトルと指示書きは動かさないこと。
4. 指示書きで定められた頁数は超えないこと。なお、空白の頁が生じても削除しないこと。

○本留意事項の内容を十分に確認し、領域計画書（概要版）の作成時にはこのテキストボックスごと削除すること○

A01 象の卵の探索－動物園 は世界の動物園を巡り、象舎に卵が隠されていないか、探す。

研究計画調書の概要（総括班以外の計画研究）

研究項目 番号	研究代表者氏名	研究課題名
A02	H. ボガード	象の卵の探索－アフリカ
研究計画調書に記載した「（a）研究計画、研究方法など」「（b）研究遂行能力及び研究環境」について、その概要を簡潔にまとめて記述すること（1頁以内）。		

(\KeikakuInstructions をコメントアウトしてください。)

○本留意事項の内容を十分に確認し、領域計画書(概要版)の作成時にはこのテキストボックスごと削除すること○

留意事項①：

1. 学術変革領域研究（B）は公募要領（「II. 公募の内容 3. 各研究種目の内容 ①学術変革領域研究（A・B）（2）」参照）記載の四つの審査区分により、広い分野の委員構成で多角的視点から審査が行われることに留意すること。
2. 学術変革領域研究（B）では、本様式（「領域計画書の概要」、「研究計画調書の概要」、「過去の採択研究課題からの発展性」欄）に領域計画書「応募情報（Web入力項目）」を加えた「領域計画書（概要版）」のみによる事前の選考を行います（応募件数が少ない場合、事前の選考は行いません）。本様式は、書面審査及び合議審査では参照できないため注意すること。

留意事項②：

1. 作成に当たっては、領域計画書（全体版）・領域計画書（概要版）作成・記入要領を必ず確認すること。
2. 本文全体は11ポイント以上の大きさの文字等を使用すること。
3. 各頁の上部のタイトルと指示書きは動かさないこと。
4. 指示書きで定められた頁数は超えないこと。なお、空白の頁が生じても削除しないこと。

○本留意事項の内容を十分に確認し、領域計画書（概要版）の作成時にはこのテキストボックスごと削除すること○

A02 象の卵の探索－アフリカ はアフリカに行き、空と地上から象の卵を探す。アフリカ象は気性が荒いが、サバンナの方がジャングルよりも見通しが効く。

過去の採択研究課題からの発展性（該当する研究領域のみ）

過去の採択研究課題からの発展性について記述すること。特に次の点について具体的かつ明確に記述すること（1頁以内）。

- 1) 過去に「挑戦的研究（開拓・萌芽）」又は「創発的研究支援事業」において採択された研究課題を更に発展させる提案については、当該研究費で期待された成果が十分得られたか（中間評価・事後評価（当該研究費の配分機関が行うものに限る）がある場合はその結果についても記述）、既存研究課題の飛躍的な展開・拡大により新領域として発展する可能性が見込める内容となっているか（当該研究課題における研究計画との違いについても記述）
- 2) 応募情報（Web入力項目）において「該当しない」を選択した場合は、その旨を記述

過去の採択研究課題から、次のような発展性が...